



R5 八鹿っ子

～ふるさとを愛し 自らを高め 未来への道を切り拓く 八鹿青溪っ子の育成～

あけましておめでとうございます

元旦早々の能登半島地震発生により、お正月気分が一転した1年の始まりとなりましたが、八鹿っ子たちは、3学期も元気に学校にやって来てくれました。学校に元気な子どもの声が聞こえる有り難さを、ひととき強く実感する1月です。

本年も、教職員一同、246名の八鹿っ子の健やかな成長をめざし「よろこびが生まれる学校」づくりに向けて全力を尽くしてまいります。保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。



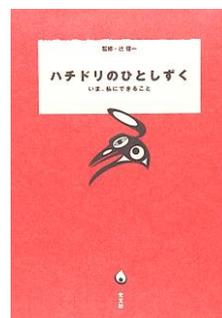
ハチドリの一としく

- 冷たい空気の体育館。ぴんと張った雰囲気の中で3学期の始業式を行いました。始業式では、能登半島地震について話をしました。子どもたちは静かにスライドを見ながら、被災した町や被災された人々について考えました。私たちは報道を目にするたびに「何か助けになれることはないだろうか」という思いと「自分にできることは何もないな」という思いが行ったり来たりします。同じように感じる子どもたちも多いのではないのでしょうか。
- 「ハチドリの一としく」(監修:辻信一 光文社発行)という短い物語を子どもたちに紹介しました。南米のアンデス地方に伝わるお話です。“ハチドリ”はアメリカ大陸に生息する小型の鳥です。

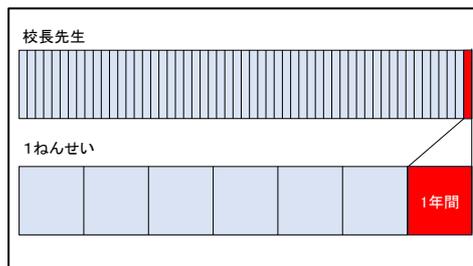
森が燃えていました。
森の生きものたちは われ先にと 逃げていきました

でもクリキンディという名の ハチドリだけは いったりきたり
くちばしで水のしずくを一滴ずつはこんでは 火の上に落としていきます
動物たちがそれを見て
「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います
クリキンディは こう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」



- とてつもなく大きな問題を前にして、それでも「私にもできることがある」と思えたら。それは微力ではあるかもしれないけれども“無力”ではありません。例えば、祈ること。もらったお年玉からちょっとだけ募金すること。被災地の方を思いながら残さずに食事をしたり、水を大切に使ったりすること。今、この国で起こっていることに「何か自分でできることはないか」と、考えられる子になってほしいです。
- そして「私は、私にできることを一生懸命にする」ことは、自分にとっても、1年の初めの心構えとして大切なことです。今、自分ができることを一生懸命にすることが、自分の可能性やできることを広げ、増やしていくための、いちばんの方法です。
- 右の図は2学期の終業式で、子どもたちに示したスライドです。7歳の子どもたちの1年には、55歳の私の8年分の伸び幅があります。今年も「のびしろしかない」子どもたちが、すくすくと育つ1年になりますように。



■ ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手からグローブが届きました

報道等で話題になっていた大谷翔平選手からのグローブが八鹿小学校にも届きました。始業式後に紹介すると、子どもたちから歓声が起こりました。夢に向かおうとする全国の子どもたちを、大谷選手は応援してくださっています。国内が大変な、こんな時期だからこそ、なおさら



本校に届いたグローブ



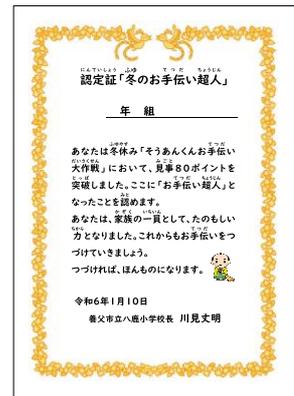
さっそく、「野球しようぜ！」

「子どもたちのために、自分にできることをする」大谷選手の熱い気持ちが、しっかりと子どもたちに届きました。

■ 「お手伝い超人」認定証

冬休みも「そうあんくんお手伝い大作戦」へのご協力、ありがとうございました。年末年始の忙しい時期に、子どもたちも家族の一員として積極的に手伝いに取り組んでいたことがよくわかりました。お手伝いを通して深まった家族の絆もあったのではないかと想像します。お手伝い 80 ポイントを突破した子には「冬のお手伝い超人認定証」を渡します。

ご家庭での取組に感謝申し上げるとともに、引き続き「そうあんくんの日」へのご協力をお願いします。



■ 1月の東井先生の言葉

書いた字にも そうじの跡にも しばったぞうきんにも
仕事の一つ一つにあなたが満ち満ちている
そういう仕事をねばり強くやり続けることのできる人

いただいた年賀状をめぐっていくと、差出人を見なくても、誰からの年賀状なのか、当てられるものが何枚かあります。味わいのあ

る文字です。何年も言葉を交わしていなくても、その文字を見るだけで、誰なのかがわかります。「うわー、なつかしい字や！」という感慨に浸ったりします。

担任の教員なら、子どもたちのノートは、たいがい誰のノートか当てられると思います。この事実が意味していること。それは今、子どもたちが何気なく書いている文字が、いつか、その子自身を映し出すものにもなるということです。毎日漢字練習をする中で、子どもたちは自分の“味”をつくっているということでしょう。「ていねいに書くこと」にはそんな意味もあります。

ていねいさはねばり強さとセットで機能するものです。1年のはじめだからこそ、何事にもていねいさを意識して取り組ませたいものです。

2月の行事予定

1日 (木) 特別支援学級交流会 ようかっ子教室	15日 (木) ようかっ子教室
6日 (火) 児童朝会	16日 (金) スキー教室 (1~3年給食)
7日 (水) お話広場 (中)	19日 (月) 委員会活動 *この週の間避難訓練
9日 (金) オープンスクール *2~4校時	21日 (水) お話広場 (低) 5才児体験入学
11日 (日) 建国記念の日	23日 (金) 天皇誕生日
12日 (月) 振替休業日	28日 (水) お話広場 (高) 児童会選挙
13日 (火) 全校朝会	29日 (木) 代表委員会 ようかっ子教室 (最終)
14日 (水) お話レストラン	

